

2019年6月9日(日) 淡水アクアリウム教室

【学習会の内容】

水槽にメダカや水草などを入れて飼育するアクアリウムを作りながら、自然に親しみ、自然の大切さを学習します。作ったアクアリウムは、持ち帰ることができますので、家で観察しながら楽しんで、命の大切さを学ぶことができます。

※このアクアリウムは市役所環境課にて飼育中です。
ぜひ見に来てくださいね！

【学習会の様子】



NPO法人トンボと水辺環境研究所の川口先生の説明を聞きながら、砂、植物、魚類の順番で水槽にアクアリウムをつくっていきます。その一つ一つの工程の際に、それぞれの役割をわかりやすく教えてもらいます。

植物からは、「進化はどのようにおこるのか？」や「木などの植物がなくなると地球はどうなるのか？」

魚類からは、「外来種」や「国内外来種」

他には、川口先生の生きものを飼って学んだ経験談などを話していただきました。

難しいテーマもありましたが、子どもも大人も皆さん真剣に話を聞いていました。

最後に川口先生より

「今は生きものをもらってうれしい気持ちでいっぱいだろう。

しかし、『うれしい』で終わるのではなく、水槽の中がどのように変化していくかを観察してほしい。

失敗してもいい。そこから『なぜだろう?』と考え、学んでほしい。」



<こぼれ話>

この講座で一番活躍したのが、このシジミです。

泥水を混ぜて同じ量を入れた入れ物を二つ用意し、片方にはシジミを入れたものです。

一時間後の状態がこの写真。

シジミを入れた方だけがキレイになっています。これはシジミが体内で泥水をキレイにしてくれた証拠。

しかし、キレイな水はシジミからおしっことして出てくるのです。

因みに、1つのシジミで2ℓの水をキレイにできるそうですよ！